

シリーズ

阿久比を歩く ⑥



町教育委員会作製の「ふれあいマップ」

町教育委員会が作製した『ふれあいマップ』の各コースをぶらり旅することにした。今回は「史跡めぐりコース」を巡った。
東部小学校からスタートを切る。朝方の雨で地面が少しぬれている。友人が「わが母校ですよ」と言いながら、自慢げに校歌を口ずさむ。時より吹く風は秋の風で気持ちがいいが、彼の歌声はいまいち。民家の間の細道を通り、第二エツ

ふれあいマップを歩く(史跡めぐりコース)

あ

ぐ

い

ぶ

ら

り

旅

史跡めぐりコース

クポイントの谷性寺へと向かう。寺に着く。境内はとても静か。奥の墓地の方から線香のにおいが漂う。六地藏が穏やかな顔をして立ち並んでいる。軽く会釈をして次へ進む。
少し歩くと、第三エツクポイントの光西寺の屋根が見えてくる。規則正しく並べられた瓦と反りは立派で美しい。寺の山門をくぐる。右手は東部保育園。普段は元気な子どもたちの声でにぎやかな園も、今日は休みでひっそりとしている。ツクツクボウシの鳴き声だけが境内に響く。鐘楼堂横に滑り台がある。友人の目の色が変わり、瞳は子どものように輝いている。満面の笑みを浮かべ、滑り台に駆け寄り、私の顔をうかがう。「はずかしいからやめとけよ」と目で合図を送る。友人は滑るのをあきらめ、子どもはどうして滑り台で遊ぶのが好きなのですかねえ」と私に問い掛ける。「君が一番分かっているだろ」。……。(笑)
第四エツクポイントの熱田社は光西寺のすぐ西隣り。熱田社に立ち

寄る。



宮津熱田社常舞台上部の「力神」

常舞台が残る。昭和三十年ごろまで村芝居が盛んに行われ、近在の人々が熱心に観劇を楽しんだ場所である。常舞台正面上部に一對の「力神」が境内を見張る。眼光するどく、寄木彫りの彫刻はダイナミックで力強い。

樹齢は不明だが、安永三(一七七四)年に熱田社が建て替えられる際、植樹されたと言われている二本の楠(町指定天然記念物)が大切に保護されている。むき出しになった楠の根っこ付近でアリたちが、自分の体よりも大きな昆虫の亡き骸を一生懸命運ぶ。自分たちの食事として巣まで運んでいくのだろう。「頑張り」と二人で声援を送る。「力神」も身を乗り出して応援しているようにも思えた。
次回へ続く。